

事務事業マネジメントシート(平成27年度実績と平成28年度計画)

平成28年 9月30日更新

事務事業名		農業委員会だより発行事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	1	人々が安全に安心して暮らせるまちづくり			所属部	農業委員会	課長名	後藤 俊彦
	施策	6	計画的な土地利用の推進			所属課	農業委員会	担当者名	中尾 竜也
	施策の柱	17	農業振興地域の形成			所属班	農地班	(内線)	1182
予算科目	会計一般	款6	項1	目1	事業連番10178	根拠法令	成果優先度評価結果 : ⑫ コスト削減優先度評価結果 : ⑥		
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 27年度で終了 <input type="checkbox"/> 27年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)					

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	『農業委員会だより』を年2回(9月・3月)発行し、全世帯に配布している。農地のあっせんや農地賃借料情報・農業標準賃金情報等を掲載し、農業経営に役立つ情報を提供している。 また、農業後継者・新規就農者の紹介、農業委員や女性農業者の活動の紹介など、農業を理解していただくための情報も掲載している。 さらには、無断転用の防止や、全国農業新聞の広告、農業者年金についても推進する記事を掲載している。
【業務の流れ】	記事の検討取材、写真撮影、発行、全世帯に配付
【主な予算費目】	需用費(印刷製本費)
【意見や要望】	農業者からの農地のあっせんの問い合わせや、小作料・農作業委託賃金などについて問い合わせがあった。

1 現状把握の部 (DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 27年度実績(27年度に行った主な活動) (DO)	農業委員会だよりの発行(年2回)	28年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN)
		農業委員会だよりの発行(年1回)
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 回	予算の主な増減の理由
→ ア: 発行回数	回	発行回数の減による需用費(印刷製本費)の減
→ イ: 配付枚数	枚	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
市民		(単位) 人
		→ ア: 人口
		→ イ:
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
農業行政に対する理解が深まる。		(単位) 人
		→ ア: 配付して苦情が上がった人数
		→ イ:
*③成果指標設定の理由と28年度目標値設定の根拠		総トータルコスト
配付して苦情が上がった人数を成果指標とした。		全体計画
		~ 年度
		0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	25年度 実績(決算)	26年度 実績(決算)	27年度 目標(当初予算)	27年度 実績(決算)	28年度 目標(当初予算)	29年度 予定	30年度 見込	31年度 見込	
① 活動指標	ア 回		2	2	2	2	1	1	1	1	
	イ 枚		18,800	19,200	19,900	19,500	20,200	20,300	20,400	20,500	
② 対象指標	ア 人		58,237	59,067	59,200	60,008	60,100	60,900	61,500	62,000	
	イ 枚										
③ 成果指標	ア 人		0	0	0	0	0	0	0	0	
	イ 枚										
投資 入 費 量	財源内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円	116	92						
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
	人件費	一般財源	千円	176	196	341	279	181	212	217	225
		(A) 事業費計	千円	292	288	341	279	181	212	217	225
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		正規職員従事人数	人	4	4	4	4	4	4	4	4
延べ業務時間	時間	304	304	300	304	300	300	300	300		
(B) 人件費計	千円	1,211	1,211	1,195	1,128	1,195	1,195	1,195	1,195		
トータルコスト(A)+(B)	千円	1,503	1,499	1,536	1,407	1,376	1,407	1,412	1,420		

事務事業名	農業委員会だより発行事業	所属部	農業委員会	所属課	農業委員会
-------	--------------	-----	-------	-----	-------

## 2 評価の部 (CHECK)

\*原則は27年度の事後評価、ただし複数年度事業は27年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①27年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した 発行回数、発行枚数ともに目標達成した。	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】
	②28年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 年1回(6月)発行する。	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 広報こうしとの連携により、最新の情報を掲載できる。	<input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 広報こうしとの連携できる。年2回発行するよりも最新の情報が掲載できる。	<input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 広報こうしと連携することにより事業費が削除できる。	<input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 広報こうしと連携することにより、校正作業など人件費の削減ができる。	<input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 農業行政について全世帯に配付しているので公正である。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 現在、農業委員会が発行しているが、市の広報に記事を掲載するのは適正である。	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】

## 3 評価結果の総括 (CHECK)

年2回(9月、3月)発行した。読み手が興味を持って見られるよう、記事の充実を図りたい。

## 4 今後の方向性(事務事業担当課案) (ACTION)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) 農業委員会だよりは年2回、4ページなので、それを市広報へ数ヶ月に1回掲載することにすれば、最新の情報で掲載でき、読み手も興味をもって読むことができるのではないかと。 	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持	○			低下		
				コスト																	
		削減	維持	増加																	
成果	向上																				
	維持	○																			
	低下																				
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																					